

令和5年度

# 事業概要書

令和5年8月

宇佐土木事務所

# 目 次

1. 職員現員数	1
2. 管内の現況	
(1) 道路現況(国道・県道)	2
(2) 河川現況	4
(3) 海岸現況	5
(4) 砂防現況	6
3. 令和5年度の事業概要	
(1) 主要事業の執行状況	8
(2) 公共事業施工箇所調書	12
(3) 単独事業費調書	16
(4) 災害復旧事業進捗状況調書	18
(5) 検査箇所調書	18
4. 用地登記事務処理状況	19

1. 職員現員数

(令和5年5月15日現在)

組織及び現員			職 種		技能労務職員					計	非常勤職員	長期臨時職員	備 考
			一般行政職員		事務補佐	技術補佐	技師	道 路 パトロール員	土木巡視員				
			事 務	技 術									
現 員	総 務 課	所 長		1						1			
		次 長	1							1			
		総務課長(兼)	(1)							(1)			次長兼務
		総 務 班	4							4	1		新採用1名
		用 地 班	3							3	3		再任用1名
	建設・保全課	建設・保全課長		1						1			
		管 理 班	2						1	3	1		
		保 全 班		4	1		2			7			
		企画・道路班		5						5			新採用1名
		河川砂防班		3						3			
計			(1) 10	14	0	1	0	2	1	0	(1) 28	5	(1) 33

※兼務( )は、内数

## 2. 管内の現況

市町村名	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )
宇佐市	50,823	439.05
計	50,823	439.05

大分県の人口推計結果(令和5年4月1日現在)

### (1) 道路現況(国道・県道)

#### ア. 道路

(令和3年3月31日 道路現況調書)

道路種別	路線数	実延長(km) A	改良別内訳				路面別内訳			
			改良済(km) B	%	未改良(km)	%	舗装済(km) C	%	未舗装(km)	%
国道	3	54.6	52.3	95.8	2.3	4.2	54.6	100.0	0.0	0.0
主要地方道	5	72.3	68.6	94.9	3.7	5.1	72.3	100.0	0.0	0.0
一般県道	24	112.7	83.0	73.6	29.7	26.4	112.2	99.6	0.5	0.4
計	32	239.6	203.9	84.9	35.7	15.1	239.1	99.8	0.5	0.2

(注) 国道10号及び旧道は含まない

改良済延長は、幅員5.5m以上

\* 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

イ. 橋 梁

(令和3年3月31日 道路現況調書)

道 路 種 別	箇 所 数	橋 長(m)
国 道	50	2,946.0
主 要 地 方 道	42	1,491.0
一 般 県 道	79	1,627.0
計	171	6,064.0

(注) 国道10号及び旧道は含まない

ウ. トンネル

(令和3年3月31日 道路現況調書)

道 路 種 別	箇 所 数	延 長(m)
国 道	2	388.0
主 要 地 方 道	3	393.0
一 般 県 道	0	0.0
計	5	781.0

(注) 国道10号及び旧道は含まない

(2) 河川現況

(令和5年4月1日現在)

河川名	延長(m)	河川名	延長(m)
○ 五十石川	8,600	新貝川	7,000
三反田川	3,620	釜の口川	8,400
林松寺川	3,340	鳥越川	2,800
石井川	3,210	寒水川	3,900
○ 伊呂波川	18,511	福貴野川	1,100
井川	3,340	佐田川	17,674
山口川	1,500	京石川	3,100
○ 山城川	1,300	山蔵川	10,250
○ 黒川	3,700	房ヶ畑川	1,500
○ 駅館川	14,100	広谷川	5,200
恵良川	15,900	塔ノ尾川	2,500
妙見川	2,700	小唐川	3,000
高並川	7,680	○ 寄藻川	17,120
日出生川	10,600	松崎川	1,260
津房川	27,750	日足川	2,840
滝川	5,000	向野川	6,546
深見川	20,072	田笛川	1,100
木裳川	2,000	計(35河川)	248,213

(3) 海岸現況

(令和5年4月1日現在)

所管	沿岸名	海岸名	区域	区域延長	指定年月日
国土交通省 水管理・国土保全局	豊前豊後沿岸	宇佐海岸	中津市大字鍋島字恵美川犬丸川右岸端から 宇佐市大字岩保新田字中溝沖まで	12,631m	昭和62. 6. 26 告示第840号
国土交通省港湾局	豊前豊後沿岸	高田港海岸	宇佐市大字岩保新田から 宇佐市大字久兵衛新田まで (川口三角点から半径2,500mの円弧内の海面)	2,803m (突堤8箇所 240m)	昭和44. 10. 11 告示第658号

(4) 砂防現況  
ア. 砂防指定地

(令和5年4月1日現在)

河川名	延長(m)	面積(ha)	河川名	延長(m)	面積(ha)	河川名	延長(m)	面積(ha)	河川名	延長(m)	面積(ha)
日足川	2,840		高並川	5,300	16.70	柚ノ木迫川	430	0.91	中村川	260	1.54
寄藻川	3,000		高並川	242	0.95	第二院内川	410	3.74	六郎丸川	260	1.17
伊呂波川	800	1.70	高並川	338	1.16	内畑川	270	0.19	中尾川	535	2.31
伊呂波川	380	1.91	高並川支川		13.78	大副谷川	192	0.64	森川	250	1.01
山口川	1,350	3.30	余川	3250	23	分寺川	129	0.73	下内河野川	73	0.40
山袋川	1,550	3.20	温見川	5,500	13.75	津房川	8,960		板場椎ノ木川	331	2.03
山袋川	65	0.22	院内川	10,000	25	津房川	-		森川	293	0.84
水落川	1,100	2.30	第二院内川	235	0.52	津房川		0.03	大久保川	282	1.36
井川	1,500	3.50	岡川	1,000	2.6	津房川	-		打上川	219	1.69
石井川	3,200	9.60	船木川	2,200	9.97	津房川	5,447	3.80	山蔵川	245	0.62
林松寺川	3,300	9.90	大重見川	815	4.12	深見川	3,780		内川野川	152	0.71
向川内川	1,840	8.54	谷川	1,080	4.53	深見川	340	1.77	景平川	160	0.80
観音寺川	460	2.05	日出生川	4,600	25.3	釜ノ口川	7,450	82.19	柚木田川②	107	0.45
万里川	2,320	5.08	宇土川	2,000	13.20	鳥越川	2800	9.8	山城川	165	0.57
下麻生川	337	3.31	尾竹川	3,380	12.10	松本川	4,800	19.20	五名川	439	1.44
第二山口川	120	0.48	恵曾川	4,200	23.10	板場川	3,600	24.30	矢崎川	280	1.28
中野川	70	0.13	恵曾川	390	2.89	広谷川	5,200	20.80	宮原川	260	1.43
乙村川	247	1.37	奥恵曾川	800	4.00	広谷川	800	1.60	二日市川①		準備中
神ノ木川	575	3.76	北山川	2,200	11.90	広谷川	354	2.32	高山川②		準備中
内尾川	423	1.68	羽山川	757	3.00	崩ヶ迫川	2,200	10.91	小田川		準備中
金丸川	220	3.17	出口迫川	190	0.82	房ヶ畑川	230	1.20	芥藤川③		準備中
妙見川	1,250		出口迫川	317	0.63	房ヶ畑川	267	0.50			
高並川	3,880	14.6	柚ノ木迫川	180	0.83	広連川	100	0.45	合計	131,871	498.38

※面積欄が空欄の場合は筆指定、延長欄が空欄の場合は構造物指定

イ. 地すべり防止区域

(令和5年4月1日現在)

市町村名	区域名	区分	指定面積(ha)
宇佐市院内町	上船木	概成	47.81
	下船木	概成	15.5
宇佐市安心院町	石仏	概成	6.5
計	3箇所		69.81

ウ. 急傾斜地崩壊危険区域

(令和5年4月1日現在)

市町村名	区域名	区分		指定面積(a)	市町村名	区域名	区分		指定面積(a)
宇佐市	長洲	概成		59	宇佐市院内町	上恵良	概成		538
	金屋下	概成		50		十ヶ平	概成		8
	官ノ下	概成		60		和田平	概成		80
	和気	概成		60		大重見	概成		160
	下矢部	概成		360		岳切	概成		70
	小峰	概成		70		屋敷	概成		60
	山袋		未着手	140		観音	概成		38
	月の瀬	概成		108		西椎屋	概成		98
	上平	概成		168		樋ノ口	概成		150
	下井ノ川	概成		109		上町	概成		127
	日足		実施中	68		柿ノ木田	概成		81
宇佐市安心院町	御筆	概成		91		室性山	概成		265
	鳥越	概成		140		下余	概成		16
	今井		未着手	145		前	概成		96
	松本	概成		38		月俣	概成		321
	松本東	概成		13		小平	概成		58
	且尾	概成		197		小迫	概成		198
	新原	概成		123		内畑	概成		63
	川崎	概成		131		日岳		実施中	151
	東椎屋	概成		146		御杳		実施中	準備中
	上内河野	概成		267		尾平		実施中	準備中
	山蔵	概成		237					
	笹ヶ平	概成		164					
	第二山蔵	概成		157					
	上荘地区	概成		166					
	本村		実施中	89					
	第二笹ヶ平		実施中	166					
	大見尾		実施中	準備中					
	内川野		実施中	準備中					
				合計	50箇所	40	8	2	6,100

### 3. 令和5年度の事業概要

#### (1) 主要事業の執行状況

##### ア) 主要地方道中津高田線(江須賀～金屋工区) 道路改良事業

##### ① 事業の目的及び趣旨

当路線は、沿線商業施設への買い物や通学等の生活道路、自動車関連企業等の集積が進む県北地域(中津・宇佐・豊後高田)の産業道路として重要な役割を担っている。

また、九州の東の玄関口のひとつである竹田津港フェリーターミナル(竹田津漁港)と東九州自動車道宇佐インターチェンジを結ぶ、地域高規格道路宇佐国見道路を代替する道路としても位置づけられており、県北地域を代表する道路である。

本事業により、広域交通が転換され現道の安全性・走行性が向上し、交通容量不足の解消及び混雑緩和につながるとともに、自動車関連企業等の物流効率化、広域交通ネットワークの強化に寄与できるものであることから、平成29年度から新規事業着手したものである。

令和5年度は引き続き、用地補償、道路改良工事を推進する予定である。

##### ② 事業の概要

道路改良事業 (宇佐市大字江須賀～金屋)

全体計画延長 2,800 m

幅員 10.50 m(車道部6.5m 歩道部2.5m)

全体事業費 5,400,000 千円 (平成29年度から新規事業)

(単位:千円)

事業計画	全 体	令和4年度迄	令和5年度	令和6年度以降
工事費	4,000,000	611,062	<b>100,000</b>	3,288,938
用地・補償費	1,400,000	492,082	<b>230,000</b>	677,918
計	5,400,000	1,103,144	<b>330,000</b>	3,966,856

イ) 一般国道387号(櫛野拡幅) 道路改良事業

① 事業の目的及び趣旨

当路線は、宇佐市中心部と旧院内町、玖珠町等をつなぎ、南北方向に走る幹線道路である。

交通量が10,716台/日(R2.6実測)と非常に多く、緊急輸送道路にも指定されている。

当事業区間は、第3種2級の道路規格に必要な車道幅員6.5mを満たしておらず、大型車通行時にはセンターラインをはみ出して走行するなど、走行性に支障が生じている。

また、事業区間周辺には民家が多数存在するにもかかわらず、歩道が未整備な上、路肩も狭小であり、歩行者等の通行空間が確保されていない状況である。

当事業を実施することにより、車道拡幅による走行性の改善、歩行者等の通行空間確保による交通安全性の向上が期待できる。

平成29年度から改良工事に着手しており、令和5年度は用地補償、改良工事を行う予定である。

② 事業の概要

道路改良事業 (宇佐市院内町櫛野～二日市)

全体計画延長 1,500 m

幅員 10.25 m(車道部6.5m 歩道部2.5m)

全体事業費 1,710,000 千円 (平成26年度から新規事業) (単位:千円)

事業計画	全 体	令和4年度迄	令和5年度	令和6年度以降
工事費	950,000	304,721	119,000	526,279
用地・補償費	760,000	516,279	81,000	162,721
計	1,710,000	821,000	200,000	689,000

ウ) 主要地方道 中津高田線(浜高家工区) 交通安全事業

① 事業の目的及び趣旨

当路線は、国道10号と並び県北地域を東西に結ぶ、日交通量約1万台の主要幹線道路であり、自動車関連工場などの産業道路としても利用される一方、通勤や買い物などの生活道路としても利用されている。

このような中で、本事業区間は高家小学校、北部中学校の通学路であるにもかかわらず、歩道がなく路肩が狭小であり、学童等の歩行者は常に危険な状態にさらされている。

これらを解消するため、本事業を実施し、歩道整備により児童及び高齢者等の交通弱者が安心して通行できる歩行空間を確保し、人身及び車両事故対策を行う。

平成26年度から用地取得、平成28年度から改良工事に着手し、令和4年度は140mを供用した。

令和5年度も引き続き改良工事を進め、事業効果の早期発現を図ることとしている。

② 事業の概要

交通安全事業(宇佐市大字浜高家)

全体計画延長 1,485 m

幅 員 10.25 m(車道部6.5m 歩道部2.5m)

全体事業費 925,600 千円 (平成24年度から新規事業)

(単位:千円)

事業計画	全 体	令和4年度迄	令和5年度	令和6年度以降
工事費	675,600	553,248	15,000	107,352
用地・補償費	250,000	197,352	50,000	2,648
計	925,600	750,600	65,000	110,000

エ) 矢崎川 火山砂防事業

① 事業の目的及び趣旨

矢崎川は宇佐市の北部に位置し、保全対象として人家7戸に加え、緊急輸送路である山香院内線を含む土石流危険溪流である。

上流域には、山腹及び溪床に多量の土塊や巨石が点在しており、流域の荒廃も進んでいることから、近年の集中豪雨により土石流災害発生危険性が懸念され、地元要望も強いことから早急に対策を講じ人家等の保全を図る必要がある。

平成28年度に火山砂防事業として採択され、令和元年度より現地着工し、令和4年度までに主堤工を施工した。令和5年度に溪流保全工を施工し、事業概成を予定している。

② 事業の概要

全体計画 (砂防えん堤) H=11.5m L=79.0m V=3,461m<sup>3</sup>

(溪流保全工) L=98.7m

(平成28年度から継続事業)

(単位:千円)

事業計画	全 体	令和4年度迄	令和5年度	令和6年度以降
工事費	353,000	363,000	15,000	0
用地・補償費	30,000	30,000	0	0
その他	38,000	38,000	0	0
計	421,000	431,000	15,000	0

(2) 公共事業施工箇所調書

注1: 補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています。

注2: 工事費は内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります。

注3: 事務費除きの工事費を記載しています。

図面番号	区分	種別	工種	路線、河川、港湾名	位置		工事費(千円) ( )は用地補償費	新規継続の別	概要	全体 C=金額 L=延長(換算)	
					市町村	大字				令和5年度 6年度以降	令和5年度 6年度以降
1	道路	補助事業	道路改良	国道387号	宇佐市	櫛野拡幅	200,000 ( 81,000 )	継続	C= 1,710,000 C= 200,000 C= 689,000	L= 1,500 L= 175 L= 604	
2	道路	社会資本整備 総合交付金	道路改良	中津高田線	宇佐市	江須賀～金屋	330,000 ( 230,000 )	継続	C= 5,400,000 C= 330,000 C= 3,966,856	L= 2,800 L= 171 L= 2,057	
3	道路	社会資本整備 総合交付金	道路改良	宇佐本耶馬溪線	宇佐市	江須賀	26,000 ( 0 )	継続	C= 1,360,000 C= 26,000 C= 0	L= 915 L= 17 L= 0	
			小計	3箇所			556,000 ( 311,000 )				
4	道路	補助事業	交通安全	国道387号	宇佐市	院内町下余	100,000 ( 2,000 )	継続	C= 650,000 C= 100,000 C= 71,300	L= 1,790 L= 275 L= 196	
5	道路	補助事業	交通安全	中津高田線	宇佐市	浜高家	65,000 ( 50,000 )	継続	C= 850,000 C= 65,000 C= 79,400	L= 1,485 L= 114 L= 139	
6	道路	補助事業	交通安全	津房木裳線	宇佐市	安心院町六郎丸	109,000 ( 0 )	継続	C= 320,000 C= 109,000 C= 0	L= 250 L= 85 L= 0	
7	道路	補助事業	交通安全	下時枝今津停車場線	宇佐市	富山	24,000 ( 24,000 )	継続	C= 500,000 C= 24,000 C= 399,299	L= 765 L= 37 L= 611	
8	道路	補助事業	交通安全	山香院内線	宇佐市	安心院町佐田	16,000 ( 0 )	継続	C= 650,000 C= 16,000 C= 565,000	L= 765 L= 19 L= 665	
			小計	5箇所			314,000 ( 76,000 )				
9	道路	補助事業	橋梁補修 (橋梁耐震)	国道387号	宇佐市	白岩橋 外	174,000 ( 0 )	継続	C= - C= 174,000 C= -	L= - L= - L= -	
10	道路	補助事業	橋梁補修	長州宇佐神宮線 外	宇佐市	大幹線農道1号跨線橋 外	25,000 ( 0 )	継続	C= - C= 25,000 C= -	L= - L= - L= -	
			小計	2箇所			199,000 ( 0 )				
11	道路	防災・安全 交付金	災害防除	国道387号	宇佐市	院内町温見	25,000 ( 0 )	継続	C= - C= 25,000 C= -	L= - L= - L= -	
			小計	1箇所			25,000 ( 0 )				

令和5年8月2日現在

注1: 補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています。

注2: 工事費は内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります。

注3: 事務費除きの工事費を記載しています。

図面番号	区分	種別	工 種	路線、河川、港湾名	位 置		工事費(千円) ( )は用地補償費	新規継 続の別	概 要	全 体 令和5年度 6年度以降	C=金額 " "	L=延長(換算) " "
					市町村	大 字						
12	道路	社会資本整備 総合交付金	舗装補修	和気佐野線 外	宇佐市	和気工区 外	61,000 (0)	継続	C= C= 61,000 C=	- L= L=	- - -	
13	道路	防災・安全 交付金	舗装補修	安心院湯布院線 外	宇佐市	宇佐地区	10,000 (0)	継続	C= C= 10,000 C=	- L= L=	- - -	
14	道路	防災・安全 交付金	舗装補修	国道387号 外	宇佐市	宇佐地区	20,000 (0)	継続	C= C= 20,000 C=	- L= L=	- - -	
			小計	3箇所			91,000 (0)					
15	道路	補助事業	橋梁点検	管内一円	宇佐市	管内一円	19,000 (0)	継続	C= C= 19,000 C=	- L= L=	- - -	
			小計	1箇所			19,000 (0)					
16	道路	補助事業	トンネル点検	管内一円	宇佐市	管内一円	10,000 (0)	継続	C= C= 10,000 C=	- L= L=	- - -	
			小計	1箇所			10,000 (0)					
17	道路	補助事業	附属物点検	管内一円(県道)	宇佐市	管内一円	3,000 (0)	継続	C= C= 3,000 C=	- L= L=	- - -	
18	道路	防災・安全 交付金	附属物点検	管内一円(国道)	宇佐市	管内一円	1,000 (0)	継続	C= C= 1,000 C=	- L= L=	- - -	
19	道路	防災・安全 交付金	附属物点検	管内一円(県道)	宇佐市	管内一円	1,000 (0)	継続	C= C= 1,000 C=	- L= L=	- - -	
			小計	2箇所			5,000 (0)					
20	道路	防災・安全 交付金	舗装点検	管内一円(国道)	宇佐市	管内一円	1,000 (0)	継続	C= C= 1,000 C=	- L= L=	- - -	
21	道路	防災・安全 交付金	舗装点検	管内一円(県道)	宇佐市	管内一円	1,000 (0)	継続	C= C= 1,000 C=	- L= L=	- - -	
			小計	2箇所			2,000 (0)					
	道路		道路計	20箇所			1,221,000 (387,000)					

令和5年8月2日現在

注1: 補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています。

注2: 工事費は内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります。

注3: 事務費除きの工事費を記載しています。

図面番号	区分	種別	工 種	路線、河川、港湾名	位 置		工事費(千円) ( )は用地補償費	新規継続の別	概 要	全 体 令和5年度 6年度以降	C=金額 " "	L=延長(換算) " "
					市町村	大 字						
22	海岸	防災・安全 交付金	海岸堤防等老 朽化対策緊急	宇佐海岸	宇佐市	宮熊～岩保新田	66,000 (0)	継続	C= C= C=	- 66,000 -	L= L= L=	- - -
			小計	1箇所			66,000 (0)					
	海岸		海岸計	1箇所			66,000 (0)					
23	砂防	補助事業	事業間連携 砂防等事業	矢崎川①	宇佐市	安心院町矢崎	10,000 (0)	継続	C= C= C=	456,000 10,000 0	L= L= L=	86 2 0
			小計	1箇所			10,000 (0)					
24	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	矢崎川①	宇佐市	安心院町矢崎	5,000 (0)	継続	C= C= C=	- 5,000 -	L= L= L=	- - -
25	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	二日市川	宇佐市	院内町二日市	30,000 (0)	継続	C= C= C=	450,000 30,000 330,140	L= L= L=	104 7 76
26	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	高山川②	宇佐市	麻生	5,000 (5,000)	継続	C= C= C=	235,000 5,000 185,080	L= L= L=	54 1 43
27	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	小田川	宇佐市	安心院町南畑	10,000 (0)	継続	C= C= C=	300,000 10,000 238,580	L= L= L=	105 4 84
28	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	斉藤川③	宇佐市	院内町斉藤	5,000 (5,000)	継続	C= C= C=	181,000 5,000 119,320	L= L= L=	56 2 37
29	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	高並川⑤	宇佐市	院内町高並	0 (0)	継続	C= C= C=	250,000 0 217,520	L= L= L=	65 0 57
			小計	6箇所 (矢崎川①は重複)			55,000 (10,000)					

注1:補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています。

注2:工事費は内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります。

注3:事務費除きの工事費を記載しています。

図面番号	区分	種別	工 種	路線、河川、港湾名	位 置		工事費(千円) ( )は用地補償費	新規継 続の別	概 要	全 体 C=金額 L=延長(換算)	
					市町村	大 字				令和5年度 6年度以降	〃 〃
30	砂防	防災・安全 交付金	急傾斜地 崩壊対策	第二笹ヶ平	宇佐市	安心院町笹ヶ平	35,000 (1,000)	継続	C= 160,000 C= 35,000 C= 25,000	L= 162 L= 35 L= 25	
31	砂防	防災・安全 交付金	急傾斜地 崩壊対策	日岳	宇佐市	院内町日岳	5,000 (0)	継続	C= 175,000 C= 5,000 C= 55,000	L= 165 L= 5 L= 52	
32	砂防	防災・安全 交付金	急傾斜地 崩壊対策	御沓	宇佐市	院内町御沓	37,000 (1,000)	継続	C= 53,200 C= 37,000 C= 0	L= 84 L= 58 L= 0	
33	砂防	防災・安全 交付金	急傾斜地 崩壊対策	大見尾	宇佐市	安心院町大見尾	23,000 (1,000)	継続	C= 120,000 C= 23,000 C= 74,960	L= 217 L= 42 L= 136	
34	砂防	防災・安全 交付金	急傾斜地 崩壊対策	内川野	宇佐市	安心院町内川野	1,000 (1,000)	継続	C= 160,000 C= 1,000 C= 133,000	L= 176 L= 1 L= 146	
35	砂防	防災・安全 交付金	急傾斜地 崩壊対策	尾平	宇佐市	院内町定別当	1,000 (1,000)	継続	C= 550,000 C= 1,000 C= 517,880	L= 123 L= 0 L= 116	
			小計	6箇所			102,000 (5,000)				
36	砂防	補助事業	砂防メンテナンス	寄藻川	宇佐市	正覚寺	3,000 (0)	継続	C= 60,000 C= 3,000 C= 42,000	L= — L= — L= —	
37	砂防	補助事業	砂防メンテナンス	小峰地区	宇佐市	四日市	5,000 (0)	継続	C= 10,000 C= 5,000 C= 0	L= — L= — L= —	
38	砂防	補助事業	砂防メンテナンス	下矢部地区	宇佐市	下矢部	10,000 (0)	継続	C= 40,000 C= 10,000 C= 25,000	L= — L= — L= —	
			小計	3箇所			18,000 (0)				
	砂防		砂防計	16箇所			185,000 (15,000)				
			総合計	37箇所			1,472,000 (402,000)				

令和5年8月2日現在

(3) 単独事業費調書

注1:工事費は各事業担当課が別途送付する作業値を記載しており、執行額とは額とは異なります。

注2:歳入不足等が生じた場合は変更が生じる可能性があります。

注3:事務費除きの工事費を記載しています。

事業名	工事費 (千円)	備考
交通安全事業	29,616	交安二種、交安維持、弱者対策
側溝整備事業	7,780	
道路防災事業	48,625	
身近な道改善事業	65,158	
道路改良事業	223,675	
道路施設補修事業	94,333	舗装補修
<b>道路計</b>	<b>469,187</b>	
河川海岸改良事業	45,000	
緊急河床掘削事業	60,000	
河川施設災害防止緊急対策事業	95,000	
<b>河川計</b>	<b>200,000</b>	

令和5年8月2日現在

注1:工事費は各事業担当課が別途送付する作業値を記載しており、執行額とは額とは異なります。

注2:歳入不足等が生じた場合は変更が生じる可能性があります。

注3:事務費除きの工事費を記載しています。

事業名	工事費 (千円)	備考
急傾斜地崩壊対策事業	25,000	
砂防施設・急傾斜地災害防止緊急対策事業	52,000	
砂防調査費	3,141	
砂防計	80,141	
共生のまち整備事業費	3,940	
地域の安心基盤づくりサポート事業	5,376	
その他計	9,316	
合計	758,644	

令和5年8月2日現在

(4) 災害復旧事業進捗状況調書  
(建設災害)

年 災 別	決定工事費(災害決定額)		令和4年度までの実施額(契約決定額)		令和5年度実施予定額		進 捗 率
	箇所数	金額(千円)	箇所数	金額(千円)	箇所数	金額(千円)	%
2	4	72,437	4	83,061	0	0	100.0
3	4	87,624	4	112,571	0	0	(発注ベース) 100.0
4	13	268,021	9	115,598	4	163,889	(発注ベース) 69.2
計	21	428,082	17	311,230	4	163,889	

(5) 検査箇所調書

年 度 別	元	2	3	4	摘 要
事務所検査分	102 箇所	92 箇所	98 箇所	87 箇所	繰り越し工事箇所を含む 1件の設計金額が8,000万円未満の工事
請負金額	千円 1,830,564	千円 1,912,779	千円 2,282,396	千円 1,837,081	
本庁検査分	1 箇所	2 箇所	12 箇所	1 箇所	繰り越し工事箇所を含む 1件の設計金額が8,000万円以上の工事 設備工事(電気・機械・電気通信工事)
請負金額	千円 75,924	千円 173,784	千円 1,111,707	千円 16,317	
検査箇所計	103 箇所	94 箇所	110 箇所	88 箇所	
請負金額計	千円 1,906,488	千円 2,086,563	千円 3,394,103	千円 1,853,398	

#### 4. 用地登記事務処理状況

区分	年度	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	合計
	昭和平成 38～7																												
取得筆数	15,628	266	238	478	364	297	299	167	288	231	239	165	237	247	131	275	69	185	126	156	104	85	142	102	72	41	90	69	20,791
令和3年度までの 処理筆数	15,156	264	236	458	351	289	299	167	288	231	239	165	237	247	131	275	69	185	126	156	104	85	142	102	72	41	90	-	20,205
令和4年度中の 処理筆数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	56
残筆数	472	2	2	20	13	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	530
(%) 登記率	96.9	99.2	99.1	95.8	96.4	97.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	81.1	97.4

